

2009 年から 2013 年までの景観の心理的評価に関する英語論文のレビュー A review of English papers on psychological evaluation of landscape from 2009 to 2013

青木 陽二^{1*}
AOKI, Yoji^{1*}

¹ 放送大学

¹Open University of Japan

本論文では、2009 年から 2013 年までの Landscape and Urban Planning, Landscape Research, J. of Environmental Psychology, Environment and Behavior, J. of Environmental Management や他の科学雑誌での、心理テストの観点から景観評価に関する興味深い研究をレビューする。2005 年まで、私はレビュー記事 (Aoki, 1999, Aoki, 2006, Aoki, 2007) に景観評価の様々な研究を報告した。最近の 5 年間に、最後に報告をした十年に比べて、より多くの研究が発表された。よって、私は先の論文に従い、(1) 景観現象の明確化、(2) 回答者の属性、(3) 景観評価項目、(4) 風景収集や提示方法、及び (5) 心理的反応の説明モデルと物理計画内での提案について報告する。

(1) 風景現象の明確化 (表 1)

風景評価の最初の説明は、J. Appleton(1975) によって提案された。人間の脳における複雑な反応系の詳細なメカニズムは、まだ説明されていない (Thiel, 1996)。この困難な状況は、人間に与えられた高度な脳のシステムであることが議論された (Bourassa, 1991)。我々はすでに、脳内の活動を測定するツールを得たが、景観現象の解明と、景観評価の原因の解明にはまだ時間がかかる (青木 2008)。

最近 5 年間で、小児期および青年期のアットホームな雰囲気について (Adevi と Grahn 2012) が検討した。

(2) 回答者の属性 (表 2, 3)

属性には二種類あり、人類を表わすものと個性を表わすものがある。

前者では、山岳部族のシェルパ (Beza, 2010) やナイジェリアの子供たち (Falk と Balling 2010) が調査された。

後者では、観光客が増加し、親族関係の影響が新たに (Howley ら 2012) 調査された。

インターネットを介して回答の意味づけは検討中である。

(3) 景観評価 (表 4)

好みは、近年は多く使用されている。支払い金額は、この分野で普及するようになった。SD 法はまだ評価に用いられている。

他の評価では、例えば、自宅気分 (Adevi と Grahn 2012)、親しみ (Dobbe, 2013) と、撮影場所の分布 (杉本 2013) が用いられた。

(4) 風景サンプリングと提示法 (表 5, 6)

新しい風景として、運輸軌道 (Bernasconi ら 2009)、火災後の変化 (Islas and Vergara 2012)、エベレスト山 (Beza, 2010)、季節の変化 (Eroglu ら 2012) が調べられた。

提示方法では、現場訪問が増え、携帯電話の改良により GPS(杉本 2013) 利用が人気となった。

(5) 評価説明モデルと計画提案 (表 7, 8)

評価説明モデルでは、生物多様性 (Jungels ら 2013) や、川の水量について (Pflueger ら 2010) が試みられた。

計画提案では、地図提示 (Ribeiro ら 2013, Schirpke ら 2013) が提供された。

参考文献

Aoki, Y. 1999 Review Article: trends in the study of the psychological evaluation of landscape, Landscape Research 24(1), 85-94.

Aoki, Y. A. 2006 Historical review on landscape studies in term of psychological evaluation, Landscape planning for Russia: results and prospects 37-46.

Aoki, Y. 2007 Recent trends of English papers on the psychological evaluation of landscape, J. of Environmental Information Science 35(5), 181-188.

青木陽二 2008 風景の科学的評価について 季刊環境研究 148, 120-126.

Appleton, J. 1975 The Experience of Landscape, London. Wiley.

Bourassa, S.C. 1991 The Aesthetics of Landscape, London: Belhaven Press.

Thiel, P. 1997 People, Paths and Purposes, Seattle, WA: University of Washington Press.

キーワード: 景観評価, 英文論文, 2009-2013, レビュー

Keywords: landscape appreciation, English papers, 200-2013, review